

3. 研究評価

3.1. 気象研究所評議委員会

役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の長期研究計画の策定に関する助言」及び「気象研究所が実施する研究課題の評価に関する報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、特別研究費ならびに気候変動予測研究費による研究課題（特別研究）の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評価委員会」の委員を選出して外部評価を実施している。

平成19年度気象研究所評議委員名簿（所属、役職等は平成19年4月1日現在。五十音順、敬称略）

| | | | |
|-----|-------|---------------|-----------------------|
| 委員長 | 田中正之 | 東北工業大学 | 特任教授 |
| 委員 | 蒲生俊敬 | 東京大学海洋研究所 | 教授 |
| | 小泉尚嗣 | (独)産業技術総合研究所 | 地質情報研究部門 地震地下水研究グループ長 |
| | 小室広佐子 | 東京国際大学 | 国際関係学部 准教授 |
| | 佐藤 薫 | 東京大学大学院理学系研究科 | 教授 |
| | 田中 佐 | 山口大学大学院理工学研究科 | 教授 |
| | 泊 次郎 | 元 朝日新聞社 | 編集委員 |
| | 中島映至 | 東京大学 | 気候システム研究センター長 |
| | 古川信雄 | (独)建築研究所 | 国際地震工学センター長 |
| | 松山優治 | 東京海洋大学 | 海洋科学部長 |
| | 安成哲三 | 名古屋大学 | 地球水循環研究センター 教授 |
| | 渡辺秀文 | 東京大学 | 地震研究所 教授 |

平成19年度の開催状況

平成19年度は、次のとおり第25回～第27回の評議委員会を開催した。このうち、第27回は東京で開催し、第26回については書面開催とした。

- ・第25回評議委員会 平成19年9月10日
- ・第26回評議委員会 平成19年11月（書面）
- ・第27回評議委員会 平成20年3月5日

第25回評議委員会

日時：平成19年9月10日（月）14:00～17:00

場所：気象研究所 第一共用室

出席者

（評議委員）

田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、小泉尚嗣 委員、小室広佐子 委員、
田中 佐 委員、泊 次郎 委員、古川信雄 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（8名）、他関係官

議事次第

- （1）気象研究所長挨拶
- （2）気象研究所出席者紹介
- （3）評議委員紹介

- (4) 議題 1：平成 19 年度～平成 20 年度気象研究所評議委員会委員長の選出について（協議）
- (5) 議題 2：特別研究の中間評価に関する評価委員の選出について（協議）
 - ・ 中間評価
 - 東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究
- (6) 議題 3：気象研究所の独立行政法人への移行について（懇談）
- (7) その他

会議経過

- ・ 議題 1 では、田中正之氏が評議委員会委員長に選出された。
- ・ 議題 2 では、特別研究「東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究（平成 16～20 年度）」の評価委員に田中委員長、小泉委員、泊委員、古川委員、渡辺委員が選任された。
- ・ 議題 3 では、気象研究所の独立行政法人への移行に関して、現在、気象研究所内で検討中の「中期計画における重点研究検討イメージ」及び「研究者個人業績評価の検討について」を説明し、懇談を行った。

第 26 回評議委員会

報告日：平成 19 年 11 月

評議委員：田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、小泉尚嗣 委員、小室広佐子 委員、
佐藤 薫 委員、田中 佐 委員、泊 次郎 委員、中島映至 委員、
古川信雄 委員、松山優治 委員、安成哲三 委員、渡辺秀文 委員

議事

議題 1：特別研究に関わる中間評価結果について（報告）

- ・ 特別研究「東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究（平成 16～20 年度）」の中間評価結果について報告した。

第 27 回評議委員会

日時：平成 20 年 3 月 5 日（水）14:00～17:00

場所：東京管区気象台第一会議室

出席者

（評議委員）

田中正之 委員長、小泉尚嗣 委員、小室広佐子 委員、佐藤 薫 委員、
田中 佐 委員、泊 次郎 委員、古川信雄 委員、松山優治 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（9 名）、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 気象研究所評議委員会委員長挨拶
- (3) 議題 1：平成 20 年度気象研究所予算内示について（報告）
- (4) 議題 2：融合型経常研究の進捗について（報告）
- (5) 議題 3：平成 20 年度の融合型経常研究計画について（協議）
 - （研究期間を 1 年延長する研究課題）
 - ・ 日本の異常気象の実態及び気候変動との関連に関する研究
 - ・ アジア大陸の影響による大気微量気体・エアロゾル・降水降下塵の化学組成変動に関する研究
 - （フィージビリティスタディとして実施する研究課題）
 - ・ 台風強度推定手法とその外的要因の評価に関する研究
 - ・ 海洋環境モデル・同化システムの開発と海洋環境変動機構の解明に関する研究

- (6) 議題 4：気象研究所の独立行政法人への移行について（懇談）
- (7) その他

会議経過

- ・議題 1 では、気象研究所より平成 20 年度の予算内示額について概要を説明した。
- ・議題 2 では、平成 19 年度に実施した融合型経常研究課題（12 課題）のうち、平成 19 年度に終了する研究課題について成果と内部評価結果について企画室長より説明し、実施内容の質問を受けた。
- ・議題 3 では、平成 20 年度の融合型経常研究課題のうち、研究期間を 1 年延長する 2 課題と 1 年間のフィージビリティスタディとして実施する 2 課題について概要の説明を行い、了承を得た。評議委員会からの助言は、平成 20 年度の研究開始に向けて適宜、計画に反映させてゆく。
- ・議題 4 では、独立行政法人気象研究所の中期計画における研究実施案を提示するとともに懇談を行った。

※評議委員会議事概要は気象研究所ホームページ（<http://www.mri-jma.go.jp/>）において公開している。

3.2. 気象研究所評価委員会

役割

気象研究所評価委員会は、気象研究所の実施する研究課題の外部評価を行うために設置されている委員会である。評価委員会の構成員は、評価の対象となる研究課題に応じて、気象研究所評議委員から選出される。

開催状況

平成 19 年度は、特別研究費による研究課題の評価として、評価委員会を 1 回開催し、1 課題を評価した。

中間評価

研究課題名： 東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究
研究期間： 平成 16 年度～平成 20 年度
評価日： 平成 19 年 10 月 26 日
評価委員： 田中正之 委員長、小泉尚嗣 委員、泊 次郎 委員、
古川信雄 委員、渡辺秀文 委員
評価結果： 計画の修正は必要なく、継続すべきとの評価となった。

※評価結果は気象研究所ホームページ(<http://www.mri-jma.go.jp/>)において公開している。